

市民アンケート実施概要と結果

<実施概要>

■アンケート実施期間

令和7年12月22日～令和8年1月15日

■周知方法

- ・無作為抽出2000人にはがき(13～59歳)
- ・市ホームページ
- ・市内掲示板、公共施設(図書館、コミュニティセンター等)

■回答方法

ロゴフォーム、一部紙(6件)

■回答数 42件

<集計結果>

レイキャビク市との姉妹都市交流 市民アンケート

多摩市とレイキャビク市の姉妹都市締結について、ご意見をお聞かせください

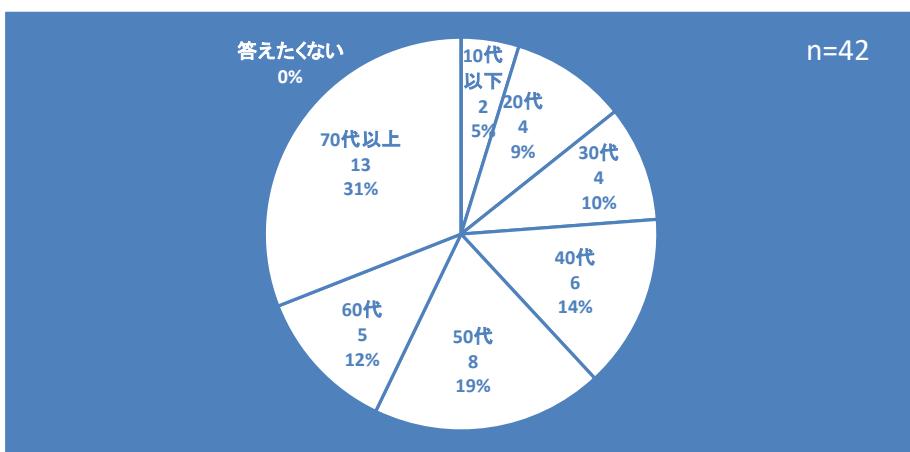
多摩市では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会をきっかけに、アイスランドとの交流を続けてきました。(アイスランド関係者による講演会、アイスランド料理教室、学校でのアイスランド給食提供、展示など。詳細は市HP参照:<https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/kouryu/1011531/index.html>)

そうしたなかで、令和7年5月にアイスランドの首都レイキャビク市の市長が多摩市を訪問され、友好関係構築に関する覚書を締結しました。その際、レイキャビク市より姉妹都市締結の提案をいただきました。

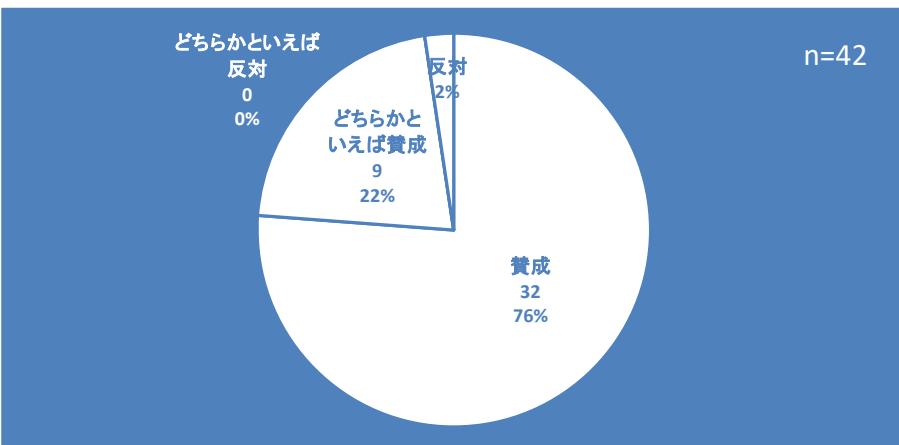
こうした状況をふまえ、現在、市ではレイキャビク市と姉妹都市締結に向けて検討しています。

このアンケートでは、レイキャビク市との姉妹都市締結への賛否、今後どのような交流を期待するか、心配な点などについて、市民の皆さまの意見をお聞きしたいと思います。賛成・反対どちらの意見も、今後の検討の参考にさせていただきます。

Q1. 回答者の年代



Q2. レイキャビク市との姉妹都市締結についてどう思うか？



Q3. Q2で回答した、賛成または反対の理由

■主な賛成理由

・国際的視野・平和への期待

グローバル化が進む一方で分断もある現在、多摩市が海外都市と姉妹都市になることで異文化に触れ、市民の見聞を広め、平和で穏やかな社会づくりに寄与できる。
世界の不安定な状況下で、友好関係を築く意義は大きい。

・教育・文化交流の促進

多摩市の国際化教育に効果的であり、若い世代の国際的視野の形成につながる。
交換留学、ホームステイを積極的に進めてほしい。
異文化との交流は楽しく、有益な経験であり、若い人への刺激になる。
多摩市民が実際にアイスランドに訪れる機会を望む。

・アイスランド(レイキャビク)の特徴への高評価

男女共同参画が世界一進んでいる国であり、積極的に学びたい。
自然環境(火山活動など)が日本と似ており、国民性も真面目で多摩市に合っていると思う。
オリンピックから様々な交流の実績があり、引き続き発展させてほしい。

・多摩市の地域活性化

文化の違いを理解しあうことで、地域創生や豊かな暮らしにつながる。
多摩市にはまだ海外姉妹都市がなく、国際化のチャンスとして意義深い。

・税の使い道への理解

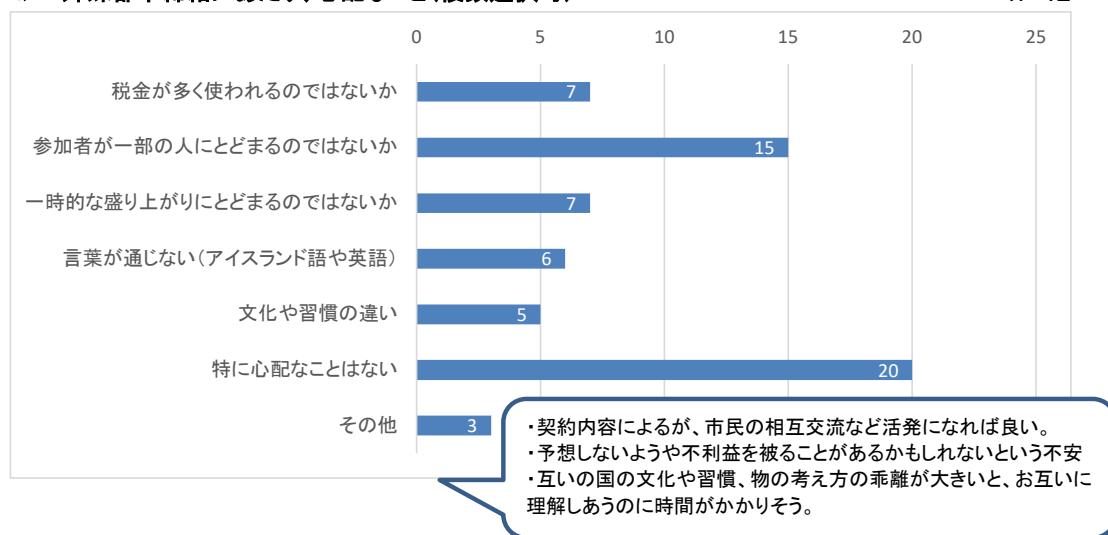
多摩市の税が使われるのであればそこに正当性があり、使い道を使う前に正確に提示して、市民に決を問うようにするならば反対する理由はない。
このような公費の利用なら個人的には歓迎。

■反対理由

・多くの市民には関係のない話。ベネフィットが想像できない。税金、職員の労力をかけるに値するのか疑問。

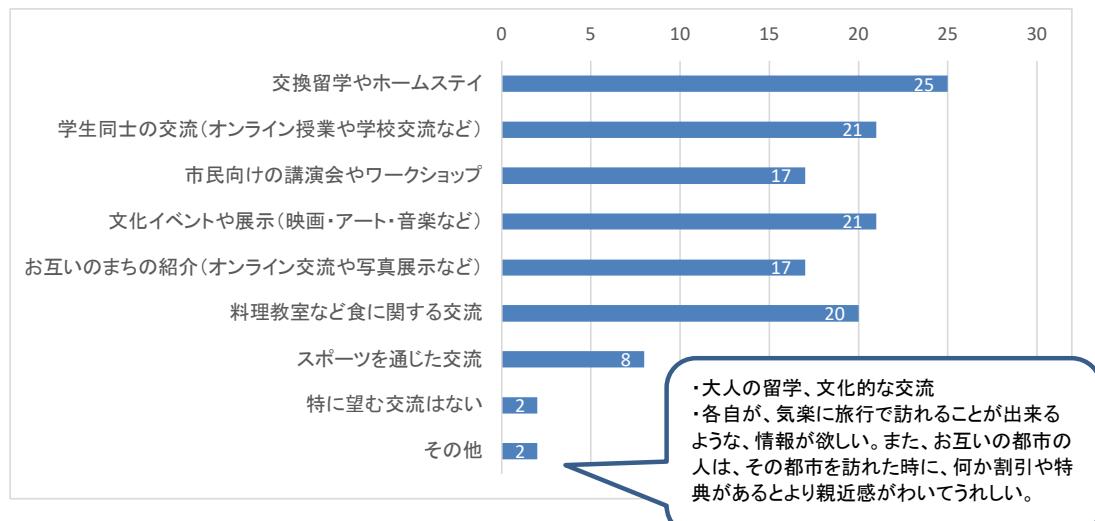
Q4. 姉妹都市締結にあたり、心配なこと(複数選択可)

n=42



Q5. レイキャビク市とどのような交流を期待しますか？(複数選択可)

n=42



・大人の留学、文化的な交流
 ・各自が、気楽に旅行で訪れることが出来る
 ような、情報が欲しい。また、お互いの都市の
 人は、その都市を訪れた時に、何か割引や特
 典があるとより親近感がわいてうれしい。

Q6. レイキャビク市との姉妹都市締結について、自由意見

■肯定的、積極的意見

・文化交流の強化

お互いの民族文化(歌や踊り)をみせ合いたい。
 市民や学生(小・中・高・大)の交流を進めてほしい。
 多摩市民文化祭での文化交流。

・継続的な交流の重要性

一度きりのイベントではなく、継続的に交流ができると良い。
 他国の都市や文化を身近に感じることで豊かな気持ちになれる。
 世代間交流の必要性:
 子供だけでなく、シニア世代との交流も大切であり、幅広い世代が関与することが望ましい。

・アイスランドとの交流への期待

アイスランドへの交換留学やホームステイの機会を提供してほしい、またレイキャビク市の学生を受け入れる側としても歓迎したい。

・観光と地域振興

レイキャビク市に対して多摩市の魅力が少ないので、もっと観光客を増やす税金の使い方をしてほしい。

・ジェンダー平等と社会の活性化

アイスランドのジェンダーギャップ指数の高さを参考に、多摩市でもジェンダー平等を進め、より活気ある街にしてほしい。

・国際交流の拡充

オリンピックのホストタウンとしての実績があるにもかかわらず、なぜ交換留学やホームステイがまだ実現していないのか。費用は自己負担でも、企画運営が市のバックアップがある安心感は大きいと思うので、小中学生など早い段階から国際感覚を養える機会を提供してほしい。

・幅広い世代の交流

学生だけでなく、社会人やシニア層も参加できる国際交流の機会を増やしてほしい。
 多摩市が代表的な国際交流都市となるといい。

■否定的意見

特に興味を惹かれない講演会、少人数での料理教室で仕事をやつたつもりになっている場合なのか。効果の少ない事業は切り捨て、少ないリソースを必要不可欠なところに注ぐような見直しをする時代になっているのではないか。姉妹都市なんかやらなくても誰も死がない。